

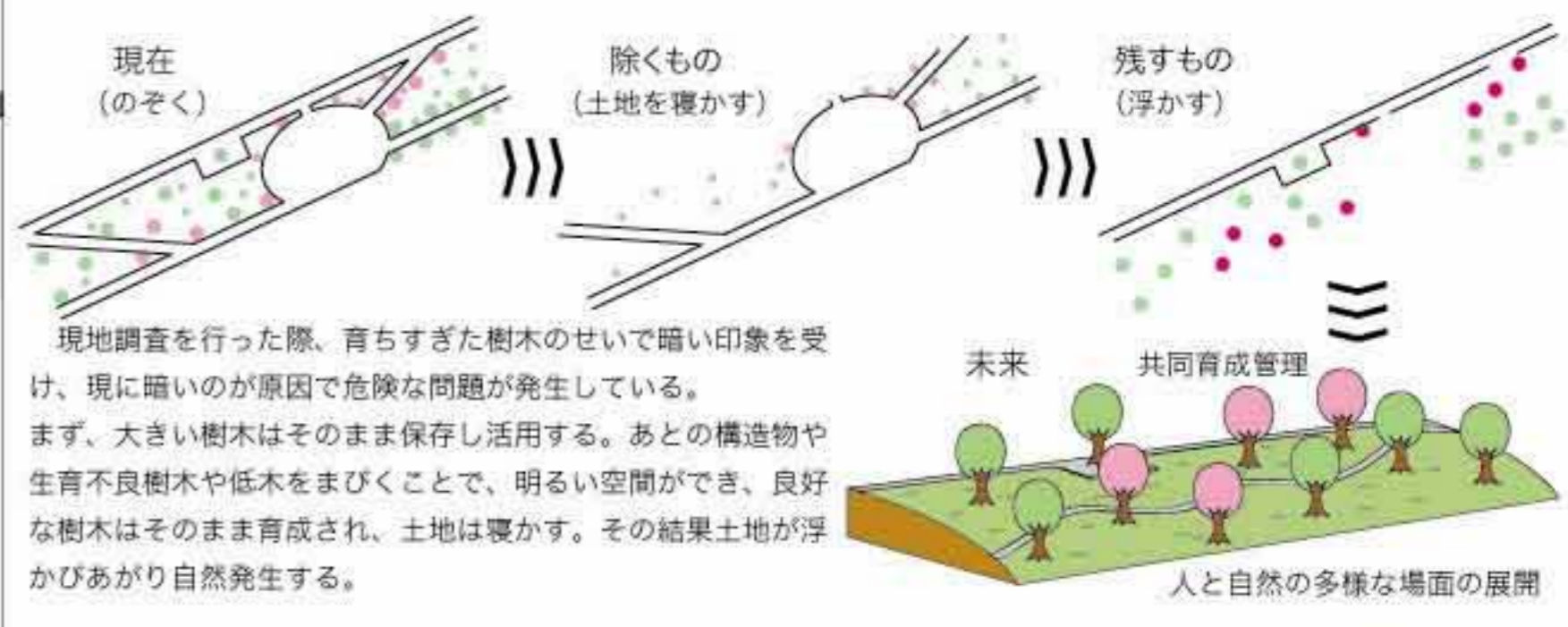
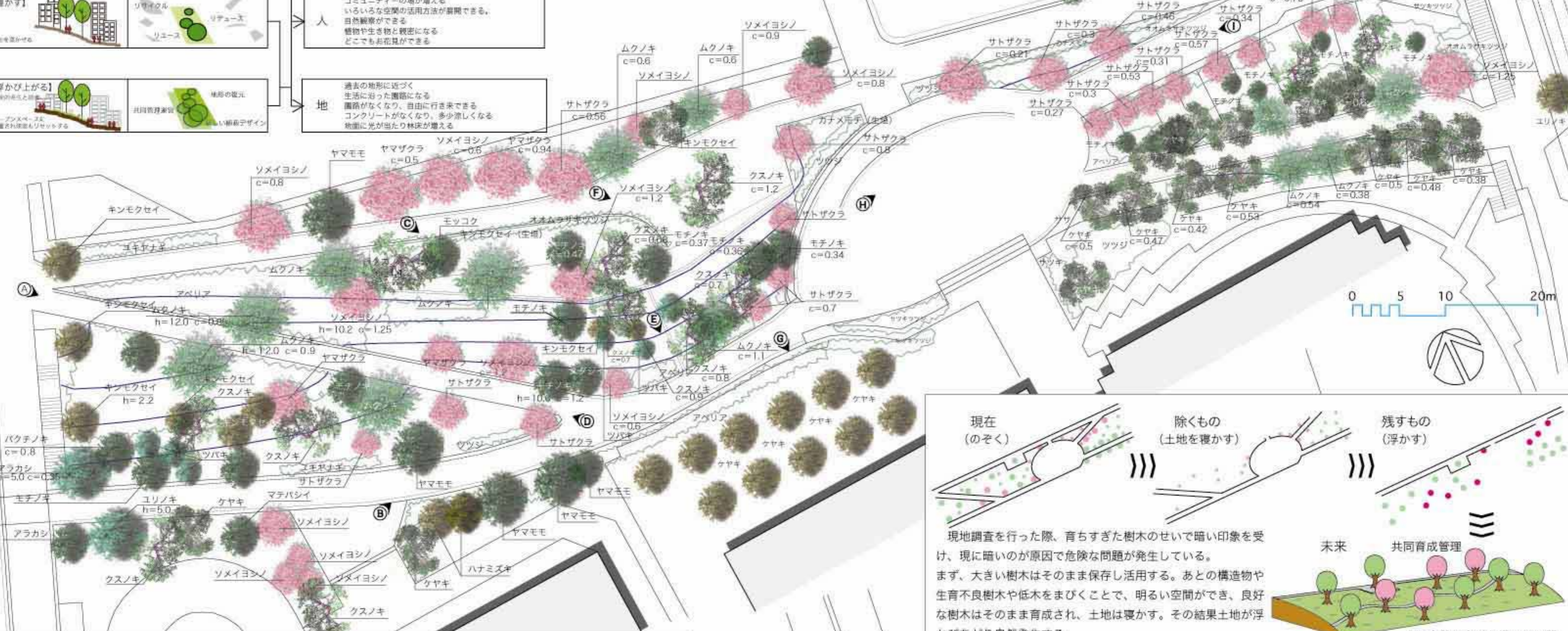
解体することによって……

緑
樹木がより大きく生長し緑陰感がわくまわっていき景色が明るくなる。樹木が減ると空気が広くなり、開放感がある。樹木、伐採樹木を有効に活用できる。育成管理が可能になる。

人
コミュニティの場が増える。いろいろな空間の活用方法が開発できる。自然観察ができる。植物や生き物と親密になる。どこでもお花見ができる。

地
過去の地形に近づく。生活に合った園路になる。園路がなく、自由に行き来できる。コンクリートがなくなり、多少荒しくなる。地面に光が当たり緑陰が増える。

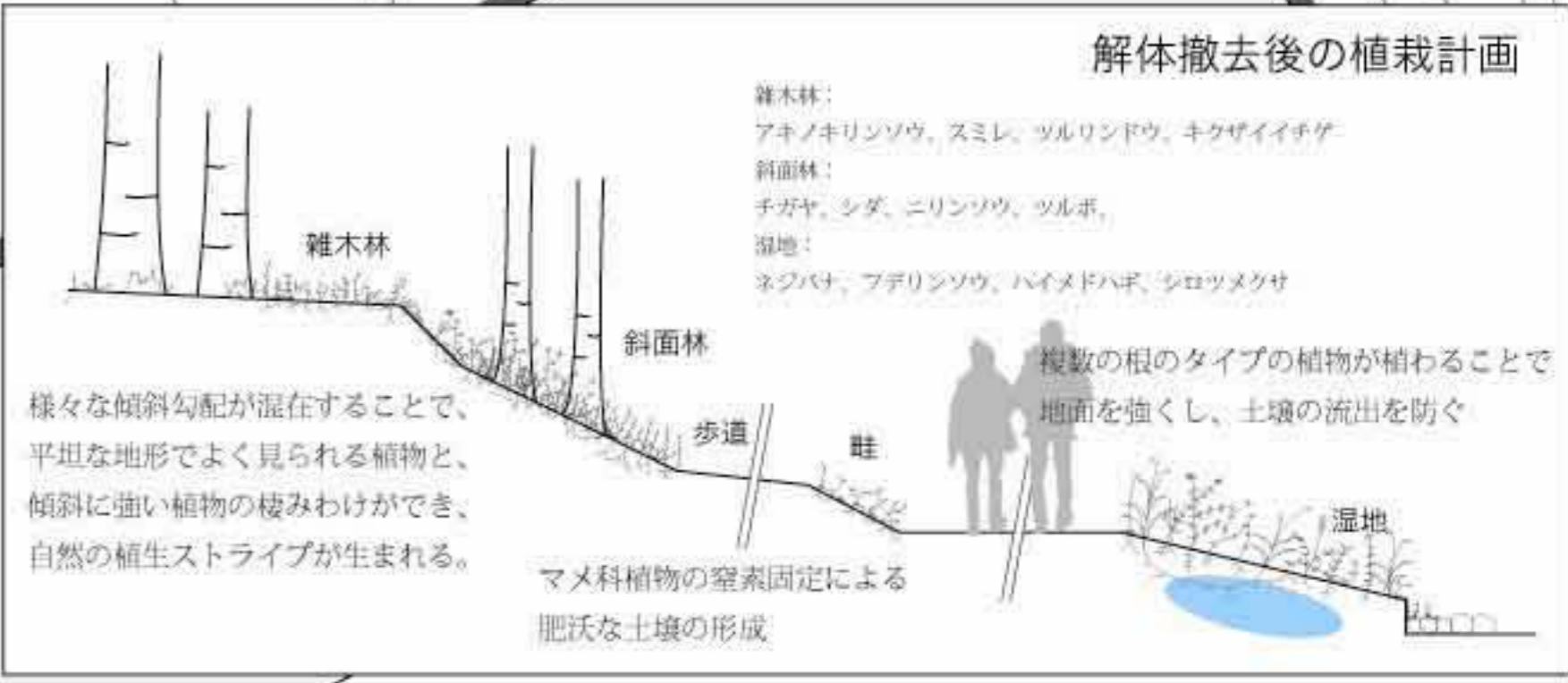
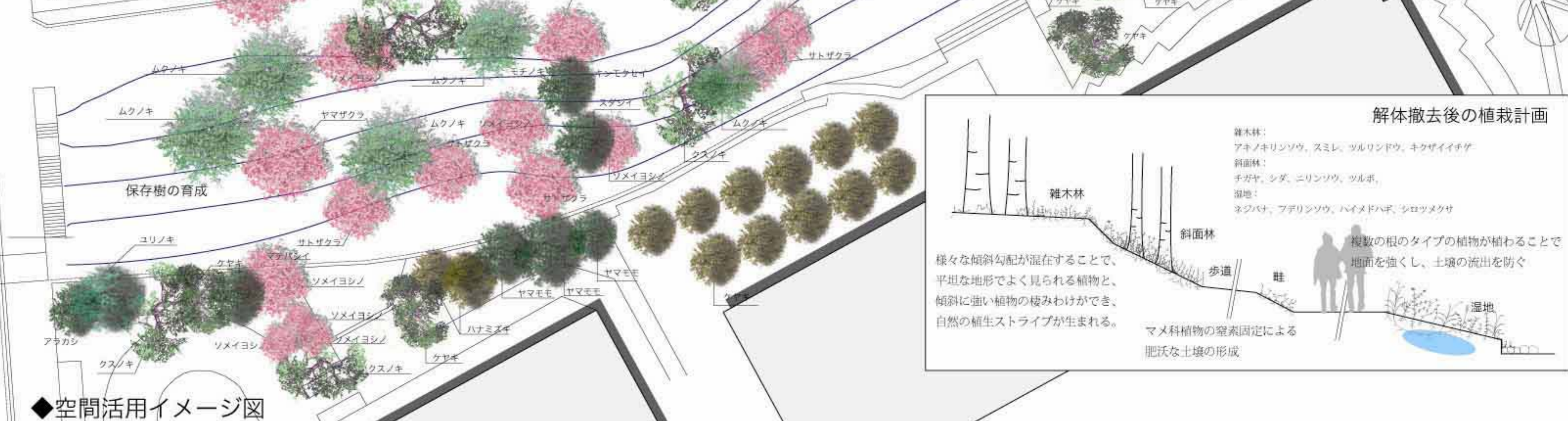
◆現況平面図 S=1:300



🔌 **RESET 解体撤去、そして自発的発生へ**

ニュータウンが作られて約40年。人工的に作られた緑は大きくなり、住民に安らぎを提供している。一方でその空間は緑のボリュームにより、ニュータウン特有の暗さと単調さを生み出している。そこで、次世代に向けての解体撤去計画を提案する。そうすることで地域住民がデザインするアノニマスなランドスケープが展開し、利用者が生み出す自然の道、活動にそった空間を自発的に生み出す。

◆解体撤去後平面図 S=1:300



◆空間活用イメージ図



◆隣接する公園でも解体撤去計画 S=1:1000

